

【表紙】

【提出書類】	四半期報告書
【根拠条文】	金融商品取引法第24条の4の7第1項
【提出先】	東海財務局長
【提出日】	2020年8月7日
【四半期会計期間】	第50期第1四半期（自 2020年4月1日 至 2020年6月30日）
【会社名】	キムラユニティ株式会社
【英訳名】	KIMURA UNITY CO.,LTD.
【代表者の役職氏名】	代表取締役社長 木村 昭二
【本店の所在の場所】	名古屋市中区錦三丁目8番32号
【電話番号】	052-962-7051（代表）
【事務連絡者氏名】	専務取締役管理本部長 小山 幸弘
【最寄りの連絡場所】	名古屋市中区錦三丁目8番32号
【電話番号】	052-962-7051（代表）
【事務連絡者氏名】	専務取締役管理本部長 小山 幸弘
【縦覧に供する場所】	株式会社東京証券取引所 （東京都中央区日本橋兜町2番1号） 株式会社名古屋証券取引所 （名古屋市中区栄三丁目8番20号）

第一部【企業情報】

第1【企業の概況】

1【主要な経営指標等の推移】

回次	第49期 第1四半期 連結累計期間	第50期 第1四半期 連結累計期間	第49期
会計期間	自2019年4月1日 至2019年6月30日	自2020年4月1日 至2020年6月30日	自2019年4月1日 至2020年3月31日
売上高 (百万円)	13,212	11,314	54,309
経常利益又は経常損失() (百万円)	565	113	2,754
親会社株主に帰属する四半期(当期)純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失() (百万円)	305	101	1,657
四半期包括利益又は包括利益 (百万円)	434	147	795
純資産額 (百万円)	28,729	28,350	28,763
総資産額 (百万円)	52,257	53,052	52,561
1株当たり四半期(当期)純利益又は1株当たり四半期純損失 (円)	25.27	8.36	137.33
潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益 (円)	-	-	-
自己資本比率 (%)	52.36	51.07	52.29

(注) 1. 当社は四半期連結財務諸表を作成しておりますので、提出会社の主要な経営指標等の推移については記載しておりません。

2. 売上高には消費税等は含まれておりません。

3. 潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

2【事業の内容】

当第1四半期連結累計期間において、当社グループ(当社及び当社の関係会社)が営む主な事業の内容について、重要な変更はありません。また、主要な関係会社における異動もありません。

第2【事業の状況】

1【事業等のリスク】

当第1四半期連結累計期間において、直前の有価証券報告書に記載した「事業等のリスク」についての重要な変更または重要事象等はありません。

2【経営者による財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

(1) 業績の状況

当第1四半期連結累計期間における我が国の経済は、国内では新型コロナウイルスの世界的な感染拡大の影響による経済活動の停滞等により個人消費や輸出の減少等により景気は急速に悪化しました。海外においても、国内同様に景気減速が懸念され、一層先行き不透明な状況となっております。また、当社グループと関係の深い自動車業界でも、国内外で加速しているCASE(コネクテッド・自動運転・シェアリング・電動化)への取り組み等の「100年に1度の大変革期」を迎える中、世界的な販売低迷等により、先行き不透明な状況となっております。

このような環境の中で当社グループにおきましては、物流サービス事業における新型コロナウイルスの感染拡大の影響に伴う受注量減少等により、売上高は11,314百万円(前年同期比14.4%減収)となり、営業損失は、主に物流サービス事業を中心に、受注量減少の影響等により131百万円(前年同期は営業利益505百万円)、経常損失は113百万円(前年同期は経常利益565百万円)、親会社株主に帰属する四半期純損失は、経常利益の減益等により101百万円(前年同期は親会社株主に帰属する四半期純利益305百万円)となりました。

なお、主なセグメント別の売上高(セグメント間の内部売上を含む)、営業利益の状況は次の通りであります。

物流サービス事業

売上高は、国内包装事業において関東地区の受注量の増加要因はあったものの、国内外共に新型コロナウイルス感染拡大に伴う一時的な操業停止等の影響により、7,688百万円(前年同期比16.7%減収)、営業利益は格納器具製品事業において北米子会社KIMURA, INC.での業績改善はありましたが、包装事業の収益悪化等により、123百万円(前年同期比82.0%減益)となりました。

自動車サービス事業

売上高は、新型コロナウイルスの影響による来店顧客の減少、営業時間の短縮等に伴う車両販売における国内子会社株式会社スーパージャンボの販売台数の減少等により、3,411百万円(前年同期比8.0%減収)となりました。営業利益は売上高の減収等により、63百万円(前年同期比39.4%減益)となりました。

情報サービス事業

売上高は、主要顧客からのシステム開発延期の要請等により、166百万円(前年同期比28.6%減収)となりました。営業利益は売上高の減収等により4百万円(前年同期比79.2%減益)となりました。

人材サービス事業

売上高は、新型コロナウイルス感染拡大に伴う客先での要員調整、採用見直し等が発生する中、積極的な拡販活動や新規顧客の獲得に注力したこと等により、131百万円(前年同期比1.7%増収)となりました。営業利益は労務費の増加等に伴う原価率の悪化により0百万円(前年同期比56.6%減益)となりました。

その他のサービス事業

売上高は、売電サービスにより、15百万円(前年同期比2.5%減収)となりました。営業利益は6百万円(前年同期比5.5%減益)となりました。

(2) 資産、負債及び純資産の状況

当第1四半期連結会計期間末の総資産は53,052百万円となり、前連結会計年度末に比較して490百万円の増加となりました。その主な要因は、流動資産が現金及び預金の増加等により510百万円増加したこと等によるものであります。

負債合計は24,701百万円となり、前連結会計年度末に比較して903百万円の増加となりました。その主な要因は、流動負債が短期借入金の増加等により676百万円増加したこと等によるものであります。

純資産につきましては、前連結会計年度末に比較して413百万円減少の28,350百万円となりました。その結果、自己資本比率は前連結会計年度末比1.2ポイント低下の51.1%となりました。

(3) 優先的に対処すべき事業上及び財務上の課題

当第1四半期連結累計期間において、当社グループが優先的に対処すべき事業上及び財務上の課題について重要な変更はありません。

(4) 研究開発活動

当社グループでは、主に物流サービス事業の分野で研究開発活動を行っており、物流機器・輸送機器の企画・設計・開発・試作を中心に活動するとともに、海外への事業展開を図るための調査・研究を実施しております。

当第1四半期連結累計期間の研究開発費は64百万円であり、主に物流サービス事業の既存製品の改良と海外における調査活動及び新サービスの開発によるものであります。

なお、当第1四半期連結累計期間において、当社グループの研究開発活動の状況に重要な変更はありません。

3【経営上の重要な契約等】

該当事項はありません。

第3【提出会社の状況】

1【株式等の状況】

(1)【株式の総数等】

【株式の総数】

種類	発行可能株式総数(株)
普通株式	30,000,000
計	30,000,000

【発行済株式】

種類	第1四半期会計期間末現在発行数(株) (2020年6月30日)	提出日現在発行数(株) (2020年8月7日)	上場金融商品取引所名 又は登録認可金融商品 取引業協会名	内容
普通株式	12,070,000	12,070,000	東京証券取引所 名古屋証券取引所 各市場第一部	権利内容に何ら限定のない当社における標準となる株式であり、単元株式数は100株であります。
計	12,070,000	12,070,000	-	-

(2)【新株予約権等の状況】

【ストックオプション制度の内容】

該当事項はありません。

【その他の新株予約権等の状況】

該当事項はありません。

(3)【行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等】

該当事項はありません。

(4)【発行済株式総数、資本金等の推移】

年月日	発行済株式総数 増減数(株)	発行済株式総 数残高(株)	資本金増減額 (百万円)	資本金残高 (百万円)	資本準備金増減 額(百万円)	資本準備金残 高(百万円)
2020年4月1日～ 2020年6月30日	-	12,070,000	-	3,580	-	3,390

(5)【大株主の状況】

当四半期会計期間は第1四半期会計期間であるため、記載事項はありません。

(6) 【議決権の状況】

当第1四半期会計期間末日現在の「議決権の状況」については、株主名簿の記載内容が確認できないため、記載することができないことから、直前の基準日(2020年3月31日)に基づく株主名簿による記載をしております。

【発行済株式】

2020年6月30日現在

区分	株式数(株)	議決権の数(個)	内容
無議決権株式	-	-	-
議決権制限株式(自己株式等)	-	-	-
議決権制限株式(その他)	-	-	-
完全議決権株式(自己株式等)	普通株式 1,700	-	-
完全議決権株式(その他)	普通株式 12,066,000	120,660	-
単元未満株式	普通株式 2,300	-	-
発行済株式総数	12,070,000	-	-
総株主の議決権	-	120,660	-

【自己株式等】

2020年6月30日現在

所有者の氏名又は名称	所有者の住所	自己名義所有株式数(株)	他人名義所有株式数(株)	所有株式数の合計(株)	発行済株式総数に対する所有株式数の割合(%)
キムラユニティ株式会社	名古屋市中区錦3丁目8番32号	1,700	-	1,700	0.01
計	-	1,700	-	1,700	0.01

2 【役員の状況】

該当事項はありません。

第4【経理の状況】

1．四半期連結財務諸表の作成方法について

当社の四半期連結財務諸表は、「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」（平成19年内閣府令第64号）に基づいて作成しております。

2．監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第1四半期連結会計期間（2020年4月1日から2020年6月30日まで）及び第1四半期連結累計期間（2020年4月1日から2020年6月30日まで）に係る四半期連結財務諸表について、有限責任監査法人トーマツによる四半期レビューを受けております。

3．金額の表示単位の変更について

当社の四半期連結財務諸表に表示される科目その他の事項の金額は、従来、千円単位で記載しておりましたが、当第1四半期連結会計期間及び当第1四半期連結累計期間より百万円単位で記載しております。なお、前連結会計年度及び前第1四半期連結累計期間についても百万円単位に変更して記載しております。

1【四半期連結財務諸表】

(1)【四半期連結貸借対照表】

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2020年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	6,505	8,200
受取手形及び売掛金	8,353	6,460
リース投資資産	8,975	8,990
商品及び製品	566	555
仕掛品	27	186
原材料及び貯蔵品	366	180
その他	898	1,629
貸倒引当金	0	0
流動資産合計	25,691	26,202
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	9,200	8,998
機械装置及び運搬具(純額)	501	486
賃貸資産(純額)	446	430
土地	6,805	6,804
建設仮勘定	207	58
その他(純額)	1,197	1,440
有形固定資産合計	18,359	18,219
無形固定資産		
のれん	62	58
その他	786	837
無形固定資産合計	848	896
投資その他の資産		
投資有価証券	4,002	4,058
繰延税金資産	841	894
その他	2,854	2,817
貸倒引当金	37	36
投資その他の資産合計	7,661	7,734
固定資産合計	26,869	26,849
資産合計	52,561	53,052

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2020年6月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	1,069	563
短期借入金	805	2,799
1年内返済予定の長期借入金	2,000	2,000
未払金	3,268	3,136
未払費用	2,499	2,217
リース債務	336	354
未払法人税等	607	122
賞与引当金	1,122	1,371
役員賞与引当金	50	-
その他	948	817
流動負債合計	12,706	13,383
固定負債		
長期借入金	2,000	2,000
長期未払金	5,916	5,931
リース債務	699	999
退職給付に係る負債	1,215	1,125
再評価に係る繰延税金負債	874	874
その他	385	386
固定負債合計	11,091	11,318
負債合計	23,797	24,701
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,580	3,580
資本剰余金	3,444	3,444
利益剰余金	20,217	19,850
自己株式	1	1
株主資本合計	27,240	26,873
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	961	962
土地再評価差額金	534	534
為替換算調整勘定	30	98
退職給付に係る調整累計額	1,223	1,179
その他の包括利益累計額合計	242	219
非支配株主持分	1,281	1,257
純資産合計	28,763	28,350
負債純資産合計	52,561	53,052

(2) 【四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書】

【四半期連結損益計算書】

【第1四半期連結累計期間】

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年6月30日)
売上高	13,212	11,314
売上原価	10,959	9,763
売上総利益	2,252	1,551
販売費及び一般管理費	1,746	1,682
営業利益又は営業損失()	505	131
営業外収益		
受取利息	2	7
受取配当金	31	31
持分法による投資利益	71	13
雇用調整助成金	-	23
その他	13	16
営業外収益合計	118	93
営業外費用		
支払利息	14	25
為替差損	43	34
その他	1	14
営業外費用合計	58	74
経常利益又は経常損失()	565	113
特別利益		
固定資産売却益	0	0
特別利益合計	0	0
特別損失		
固定資産除売却損	5	5
契約解除損失	0	-
特別損失合計	5	5
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期 純損失()	560	118
法人税、住民税及び事業税	202	50
法人税等調整額	7	72
法人税等合計	209	22
四半期純利益又は四半期純損失()	351	95
非支配株主に帰属する四半期純利益	46	5
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主 に帰属する四半期純損失()	305	101

【四半期連結包括利益計算書】
 【第1四半期連結累計期間】

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年6月30日)
四半期純利益又は四半期純損失()	351	95
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	58	0
為替換算調整勘定	131	102
退職給付に係る調整額	23	44
持分法適用会社に対する持分相当額	13	5
その他の包括利益合計	82	52
四半期包括利益	434	147
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	361	123
非支配株主に係る四半期包括利益	73	24

【注記事項】

【追加情報】

(会計上の見積りを行う上での新型コロナウイルス感染症の影響に関する仮定)

当第1四半期の業績につきましては、新型コロナウイルス感染の世界的な拡大による経済活動への影響を受け低調に推移いたしました。2020年9月頃までには通常の経済活動に戻るとの仮定のもと、会計上の見積り(固定資産の減損、繰延税金資産の回収可能性)については、2020年3月末に実施した見積りから重要な変更は行っておりません。

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

当第1四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第1四半期連結累計期間に係る減価償却費(のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。)及びのれんの償却額は、次のとおりであります。

	前第1四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年6月30日)
減価償却費	366百万円	375百万円
のれんの償却額	8	3

(株主資本等関係)

前第1四半期連結累計期間(自2019年4月1日 至2019年6月30日)

配当金支払額

(決議)	株式の種類	配当金の総額 (百万円)	1株当たり配 当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
2019年6月20日 定時株主総会	普通株式	229	19	2019年3月31日	2019年6月21日	利益剰余金

当第1四半期連結累計期間(自2020年4月1日 至2020年6月30日)

配当金支払額

(決議)	株式の種類	配当金の総額 (百万円)	1株当たり配 当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
2020年6月18日 定時株主総会	普通株式	265	22	2020年3月31日	2020年6月19日	利益剰余金

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第1四半期連結累計期間(自2019年4月1日至2019年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)3
	物流サー ビス事業	自動車サー ビス事業	情報サー ビス事業	人材サー ビス事業	計				
売上高									
外部顧客への売上高	9,224	3,694	233	44	13,196	15	13,212	-	13,212
セグメント間の内部売上高又は振替高	-	15	-	85	100	-	100	100	-
計	9,224	3,709	233	129	13,297	15	13,313	100	13,212
セグメント利益	686	105	23	1	816	7	824	318	505

(注)1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、太陽光発電事業であります。

2. セグメント利益の調整額 318百万円には、セグメント間取引消去0百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用 319百万円が含まれております。その全社費用の主なものは、当社の人事、総務及び経理等の管理部門に係る費用であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

当第1四半期連結累計期間(自2020年4月1日至2020年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)3
	物流サー ビス事業	自動車サー ビス事業	情報サー ビス事業	人材サー ビス事業	計				
売上高									
外部顧客への売上高	7,688	3,398	166	44	11,298	15	11,314	-	11,314
セグメント間の内部売上高又は振替高	-	12	-	86	99	-	99	99	-
計	7,688	3,411	166	131	11,398	15	11,413	99	11,314
セグメント利益又は損失()	123	63	4	0	192	6	199	331	131

(注)1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、太陽光発電事業であります。

2. セグメント利益又は損失の調整額 331百万円には、セグメント間取引消去0百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用 332百万円が含まれております。その全社費用の主なものは、当社の人事、総務及び経理等の管理部門に係る費用であります。

3. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

(1 株当たり情報)

1 株当たり四半期純利益又は 1 株当たり四半期純損失及び算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前第 1 四半期連結累計期間 (自 2019年 4 月 1 日 至 2019年 6 月30日)	当第 1 四半期連結累計期間 (自 2020年 4 月 1 日 至 2020年 6 月30日)
1 株当たり四半期純利益又は 1 株当たり四半期純損失 ()	25円27銭	8 円36銭
(算定上の基礎)	-	-
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失 () (百万円)	305	101
普通株主に帰属しない金額 (百万円)	-	-
普通株式に係る親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失 () (百万円)	305	101
普通株式の期中平均株式数 (株)	12,068,251	12,068,251

(注) 潜在株式調整後 1 株当たり四半期純利益については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

2 【その他】

該当事項はありません。

第二部【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。

独立監査人の四半期レビュー報告書

2020年8月6日

キムラユニティ株式会社

取締役会 御中

有限責任監査法人 トーマツ

名古屋事務所

指定有限責任社員
業務執行社員 公認会計士 高橋 寿佳 印

指定有限責任社員
業務執行社員 公認会計士 伊藤 達治 印

監査人の結論

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられているキムラユニティ株式会社の2020年4月1日から2021年3月31日までの連結会計年度の第1四半期連結会計期間（2020年4月1日から2020年6月30日まで）及び第1四半期連結累計期間（2020年4月1日から2020年6月30日まで）に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書、四半期連結包括利益計算書及び注記について四半期レビューを行った。

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、キムラユニティ株式会社及び連結子会社の2020年6月30日現在の財政状態及び同日をもって終了する第1四半期連結累計期間の経営成績を適正に表示していないと信じさせる事項が全ての重要な点において認められなかった。

監査人の結論の根拠

当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。四半期レビューの基準における当監査法人の責任は、「四半期連結財務諸表の四半期レビューにおける監査人の責任」に記載されている。当監査法人は、我が国における職業倫理に関する規定に従って、会社及び連結子会社から独立しており、また、監査人としてのその他の倫理上の責任を果たしている。当監査法人は、結論の表明の基礎となる証拠を入手したと判断している。

四半期連結財務諸表に対する経営者並びに監査役及び監査役会の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して四半期連結財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない四半期連結財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

四半期連結財務諸表を作成するに当たり、経営者は、継続企業の前提に基づき四半期連結財務諸表を作成することが適切であるかどうかを評価し、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に基づいて継続企業に関する事項を開示する必要がある場合には当該事項を開示する責任がある。

監査役及び監査役会の責任は、財務報告プロセスの整備及び運用における取締役の職務の執行を監視することにある。

四半期連結財務諸表の四半期レビューにおける監査人の責任

監査人の責任は、監査人が実施した四半期レビューに基づいて、四半期レビュー報告書において独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。

監査人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に従って、四半期レビューの過程を通じて、職業的専門家としての判断を行い、職業的懐疑心を保持して以下を実施する。

- ・ 主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対する質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続を実施する。四半期レビュー手続は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べて限定された手続である。

- ・ 継続企業の前提に関する事項について、重要な疑義を生じさせるような事象又は状況に関して重要な不確実性が認められると判断した場合には、入手した証拠に基づき、四半期連結財務諸表において、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、適正に表示されていないと信じさせる事項が認められないかどうか結論付ける。また、継続企業の前提に関する重要な不確実性が認められる場合は、四半期レビュー報告書において四半期連結財務諸表の注記事項に注意を喚起すること、又は重要な不確実性に関する四半期連結財務諸表の注記事項が適切でない場合は、四半期連結財務諸表に対して限定付結論又は否定的結論を表明することが求められている。監査人の結論は、四半期レビュー報告書日までに入手した証拠に基づいているが、将来の事象や状況により、企業は継続企業として存続できなくなる可能性がある。
- ・ 四半期連結財務諸表の表示及び注記事項が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠していないと信じさせる事項が認められないかどうかとともに、関連する注記事項を含めた四半期連結財務諸表の表示、構成及び内容、並びに四半期連結財務諸表が基礎となる取引や会計事象を適正に表示していないと信じさせる事項が認められないかどうかを評価する。
- ・ 四半期連結財務諸表に対する結論を表明するために、会社及び連結子会社の財務情報に関する証拠を入手する。監査人は、四半期連結財務諸表の四半期レビューに関する指示、監督及び実施に関して責任がある。監査人は、単独で監査人の結論に対して責任を負う。
監査人は、監査役及び監査役会に対して、計画した四半期レビューの範囲とその実施時期、四半期レビュー上の重要な発見事項について報告を行う。
監査人は、監査役及び監査役会に対して、独立性についての我が国における職業倫理に関する規定を遵守したこと、並びに監査人の独立性に影響を与えると合理的に考えられる事項、及び阻害要因を除去又は軽減するためにセーフガードを講じている場合はその内容について報告を行う。

利害関係

会社及び連結子会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以 上

-
- (注) 1. 上記は四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社(四半期報告書提出会社)が別途保管しております。
2. X B R L データは四半期レビューの対象には含まれていません。